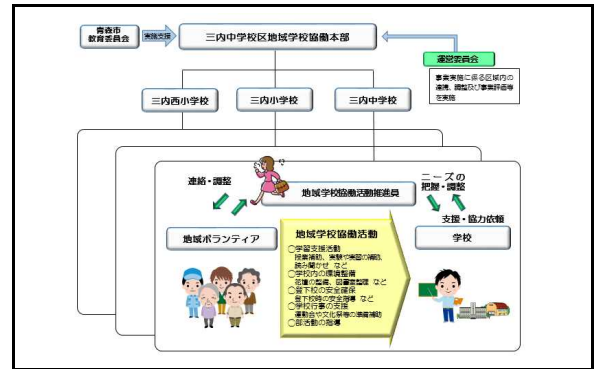


学校と家庭・地域をつなぎ合わせてつくる教育環境

青森県青森市	●活動名	●関係する学校名
	三内中学校区地域学校協働本部	青森市立三内中学校 青森市立三内小学校 青森市立三内西小学校

協働活動開始年度	平成20年度	学校運営協議会	指定・設置日	令和元年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	—	—	—	—	—
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	—	地域学校協働活動推進員等の数	—	3人
ボランティアの数	延べ登録人数	155人	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	無
参考URL	二					
●連絡先	青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課 ☎ 017-718-1376					



●活動の概要・経緯

学校と地域が一体となって、次世代の子どもの健全な育成をめざす体制を整えるために、平成20年10月に「学校支援地域本部」を設置した。学校は、社会に開かれた教育課程の実践のため、地域人材や地域素材を活用した良質できめ細やかな教育活動を展開している。

地域学校協働活動推進員は、学校と地域ボランティア間の連絡調整を行っており、学校のニーズに応じたコーディネートを実践するために、保護者を始め地域住民の参画に向けたリスト(ボランティアバンク)を作成するほか、地域にある諸団体等とのコミュニケーションを密にし、積極的に地域からの情報収集及び情報発信に努めている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

平成20年度から学校支援地域本部事業として活動を開始し、登下校の見守りや授業補助等の「学校における働き方改革」を踏まえた活動に加えて、田植え体験、地域の歴史学習、卒業生を講師に招いてのねぶた絵制作体験など、地域の特色・人材を活かした多様な活動を行っている。

地区を担当する地域学校協働活動推進員の熱意も非常に高く、PTAや町会などの地域団体へも積極的に参加してコミュニケーションをとり、近隣学区の推進員とも連絡・連携し、幅広い地域住民・団体等の参画を得ることで、さらに地域の特色を活かした、より子どもたちに魅力あるものへと活動の幅を広げている。

【実施に当たっての工夫】

地域住民(町会など)からの情報や、過去の学校支援活動への参加実績を基にして、予め活動内容に応じて対応可能な地域ボランティアを「ボランティアバンク」としてリスト化し、担当教員や地域学校協働活動推進員の交代があってもボランティア等の人材探しに苦慮せずに継続的に運営できるような体制を構築している。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会に学校(学校長)、地域住民(町会長など)及びその2者間の調整役となる地域学校協働活動推進員が参画し、協議会の中での話し合いを通じて、学校からの支援ニーズ、地域の人材についての情報を共有し、活動の企画・調整に役立てている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

【学校の教育力アップ】 子どもたちが多様な経験・体験をしたことにより、学習意欲の喚起につながっている。また、活動に参加するなかでの地域住民との触れ合いを通し、子どもたちの規範意識やコミュニケーション能力の向上につながっている。

【地域の教育力アップ】 地域住民が自らの経験を学校教育に活かすことで、自己実現につながっている。また、より多くの地域住民が活動に参加することにより、地域住民同士のコミュニケーションが深まり、地域の活性化及び学校を核とした「地域全体」で子どもを育てる体制づくりにつながっている。

●その他

毎年実施している「田植え・稲刈り学習」、「学区内探検」や「地域の歴史学習」(総合的な学習)などには多数の地域住民が参加し、子どもたちはもとより、指導にあたる地域住民も児童との触れ合いを楽しみにしており、活動に参加することが地域住民の生きがいとなっている。



「地域ボランティア学習」の様子



学校OBによる「ねぶた絵制作体験」の様子